



教授の呟き

第23回

JITの光と影

東京海洋大学教授

苦瀬博仁

●●● 待機車両の駐車事情

筆者が勤めている大学の校舎地区と寮地区の間に、片側2車線の道路が通っている。その地下はJR京葉線で、東京駅から2つ目の越中島駅になっている。この道路の両側は大学の塀で、家も店舗もないので、配送車が荷物を届けるために路上駐車することはない。しかし昼間は建設資材の運搬車や大型トラックが、夜は近くの新聞社の配送車が、時間調整のために停車している。

ビルの工事現場は広さに限りがありストック場所もないので、建設資材はJIT（ジャスト・イン・タイム：Just In Time）で搬入する必要がある。しかも工事現場付近に大型車両が駐車できるスペースはないだろうから、輸送途中で時間調整のために待機することになる。

新聞は家庭への配達時刻が決められているので、販売店までの輸送も一刻を争うことになる。このため配送車は早めに新聞社にやって来て、連絡があれば直ちに新聞を積み込めるように待機するのである。

待機している道路の交通量は少ないため、交通渋滞を起こす心配は少ないが、アイドリングしながら停車しているので、排ガスや騒音もまき散らしている。

●●● 生産現場と流通現場のJIT

生産現場でのJITは、必要な部

品を必要な量と品質のもとで、売れる製品を売れるだけ生産することである。

流通現場でのJITは、販売先のニーズに合わせて、必要な商品を必要な量と品質のもとで、適切な場所と時刻に供給することである。

しかし何事にも光と影があるように、JITも例外ではない。

●●● 2通りあるJITの解釈

JITの意義と影響については、大別して2つの解釈がある。

1つはJITが、生産効率や在庫管理さらには積載効率まで含めて適切な時刻を指定することから、無駄な在庫を減らし、キャッシュフローの改善も可能となって、ロジスティクスの効率化が実現するとの考え方である。

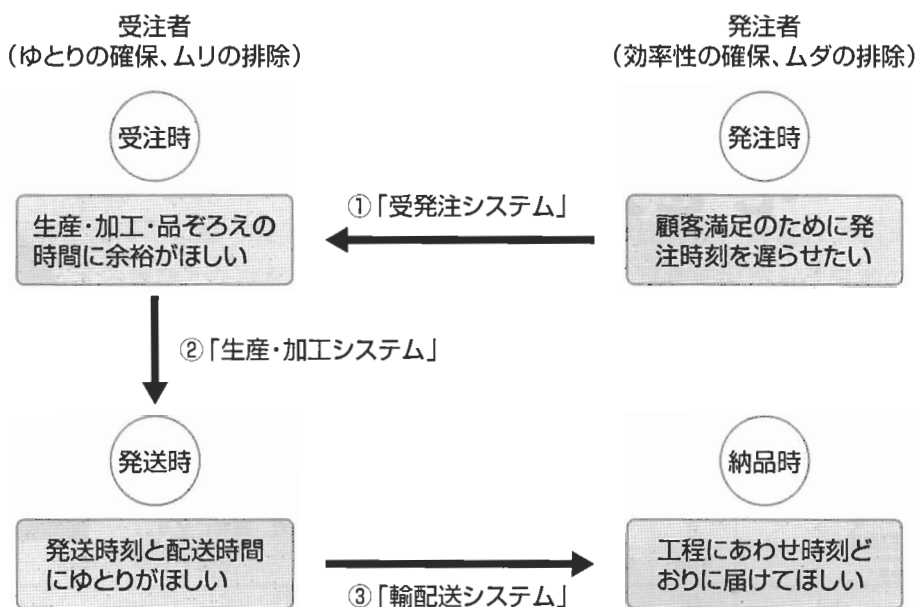
なぜならば、JITがロジスティクスの効率化を目指す方法のひとつである以上、さまざまな視点で検討しながらJITを導入しており、それゆえムダやムリは排除しているとの主張である。

このような意見は、メーカーや小売業者のうち、とりわけ流通経路をつかさどっているチャネルキャプテン^(注)に多く見られる。

●●● 逆に必要な時間のゆとり

もう一つは、JITが配送先の都合を優先するために、配送先の効率は上昇するが、納品業者や輸送業者

JITを要請する発注者と、ゆとりがほしい受注者



の効率は下がるとの考え方である。当然のことながら、納品業者や物流業者（輸送・保管業者など）に多く見られる意見である。

例えば工場内や倉庫内などと違って、道路では予想外の事故や渋滞が起きて、時間がかかることもある。配送までも含めてJITを実現しようとするれば、納品側は時間の余裕を取らざるを得ない。

つまり、「効率性を追求する厳格な時刻指定が、不測の事態に備えた時間の余裕を必要とし、この余裕が通常時にはムダとなる」というパラドックスを生むことになる。先の大型トラックや配送車の待機現象は、典型的な例だろう。

配送時間を短縮しようとする、多くの配送先を回れないから、積載率が下がることもある。たとえ積載率が低くなくても、配送先への到着

時刻を守りたいのである。

多角的にJITを考えよう

JITが、生産とロジスティクスの効率化を進める手段のひとつであることは、間違いないだろう。しかし一方でJITを要求される納品業者や輸送業者にとっては、「サービスレベルを上げれば、効率が下がる」という皮肉な現実にも直面することも

多い。

このようなJITの光と影の現れ方は、業種や業態によって異なるに違いない。それゆえJITのあるべき姿について、多角的で冷静な分析と議論が必要だと思うのである。

(注)チャネルキャプテンとは、「生産者→卸売業者→小売業者」などの流通チャンネルにおいて、商取引関係で優位に立ち、指導的な役割を果たす業者のことである。チャネルキャプテンは、商品価格の決定、販売戦略、商品開発、ロジスティクスなどのさまざまな面でイニシアチブをとることが多い。

Profile

東京海洋大学 海洋工学部
流通情報工学科 教授

苦瀬博仁

(くせ ひろひと) 1951年東京生まれ。73年早稲田大学理工学部土木工学科卒業。75年、同大学大学院修士課程修了。81年、同大学大学院博士課程修了後、日本国土開発に入社。86年から東京商船大学助教授、94年より同大学教授。2003年大学統合により、東京海洋大学教授。副学部長を経て、04年4月より評議員。94年から95年の1年間、フィリピン大学客員教授。04年6月より東京大学大学院医学系研究科客員教授(兼任)。主な著書に「付加価値創造のロジスティクス」(税務経理協会)、「都市交通—都市交通計画・都市物流計画」(丸善)、「マニラ・エンジョイ・トラブル」(論創社)、「明日の都市交通政策」(成文堂)

